



2025年8月27日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード：6574 東証グロース)
問合せ先 執行役員 藤本 光
(TEL：03 (3770) 1190 (代表))

META BIOMED Co., Ltd. との次世代型糸リフト素材開発と独占輸入代行に向けた 業務提携契約締結に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社シンクスヘルスケア（以下「シンクスヘルスケア」といいます。）は、韓国 META BIOMED Co., Ltd.（以下「META BIOMED」といいます。）と、次世代型糸リフト素材の共同研究開発及び日本市場向け上市を目的とする業務提携契約（以下「本契約」といいます。）を締結することを、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせ申し上げます。

記

1. 本契約締結の理由

わが国の美容医療市場では、ミドル世代を中心に「切らずに即時効果が得られるリフトアップ施術」への需要が急速に拡大しております。糸リフトは①リピート率が高い、②患者単価が比較的高い、③高度な施術技術を要するため価格競争が生じにくい、といった特性を備え、当社が掲げる「高付加価値・高利益率ポートフォリオ」構築に最適な施術カテゴリと判断いたしました。

これまで LGChem社製ヒアルロン酸注入剤の独占輸入を通じて培った自由診療クリニック向け販路・KOL（Key Opinion Leader）ネットワークを最大限活用し、注入系施術に並ぶ新たな柱として糸リフト市場へ本格参入する所存でございます。

META BIOMEDは1990年創業の医療機器メーカーであり、吸収性縫合糸分野における世界的リーダーとして約80か国に製品を供給しております。同社が有するポリジオキサノン（PDO）およびポリカプロラクトン（PCL）素材の押出・加工技術に、当社が国内クリニックから収集してきた臨床ニーズを組み合わせ、「柔軟性」と「引き上げ力」を両立させた次世代型コグ構造を開発いたします。開発品には360°ヘリカルバンプ配置と“White PDO”無着色フィラメントを組み合わせた独自設計を採用し、外観上も従来の紫色PDOとは一線を画す製品性能を実現いたします。試作品は国内3カ所の提携クリニックでPoC（概念実証）試験を実施し、引き上げ保持率・疼痛スコア・ダウンタイム指標を解析した後、

METABIOMEDが保有する海外症例データと統合して「グローバル×ジャパン」ハイブリッドデータパッケージを作成いたします。

2. 本契約の内容等

対象製品	・次世代型糸リフト素材
契約目的	次世代型糸リフト素材開発と独占輸入代行
当社が想定するMETABIOMED Co., Ltd.からの支援業務	① 試作品・量産品の設計支援 ② 海外臨床・非臨床データの共有 ③ 特許出願・知財戦略サポート ④ 医師向け教育用資材の提供

3. 本契約先の概要

(1) 名称	METABIOMED Co., Ltd.			
(2) 所在地	270, Osongsaengmyeong 1-ro, Osong-eup, Heungdeok-gu, Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, 28161 Republic of Korea			
(3) 代表者の役職・氏名	Chairman ・ SUK SONG OH			
(4) 事業内容	縫合糸、歯科用材料および骨移植代替材を専門とする医療機器メーカー			
(5) 資本金	9,460 百万 KRW (約 1,002百万円)			
(6) 設立年月日	1990年3月			
(7) 大株主及び持株比率	SUK SONG OH 23.49%			
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	仕入取引の関係があります。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
連結純資産		63,439.3百万 KRW (6,718百万円)	72,661.9百万 KRW (7,695百万円)	96,110.2百万 KRW (10,178百万円)
連結総資産		121,072.4百万 KRW (12,822百万円)	130,124.3百万 KRW (13,780百万円)	177,295.1百万 KRW (18,776百万円)
1株当たり連結純資産		2,658KRW (281円)	3,055KRW (324円)	4,037KRW (428円)

連 結 売 上 高	68,941.5百万 KRW (7,301百万円)	83,100.7百万 KRW (8,800百万円)	94,036.1百万 KRW (9,958百万円)
連 結 営 業 利 益	5,365.0百万 KRW (568百万円)	10,747.6百万 KRW (1,138百万円)	17,221.8百万 KRW (1,824百万円)
親会 社株主に帰 属する 当 期 純 利 益	2,627.8百万 KRW (278百万円)	10,080.4百万 KRW (1,068百万円)	22,402.5百万 KRW (2,372百万円)
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	124KRW (13円)	438KRW (46円)	969KRW (103円)
1 株 当 たり 配 当 金	20KRW (2円)	20KRW (2円)	30KRW (3円)

(注) 1. (5) 資本金及び(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態の円表記は、1 KRW0.1059円 (2025年8月26日仲値) で換算しております。

4. 当社子会社の概要

(1) 名 称	株式会社シンクスヘルスケア
(2) 所 在 地	東京都品川区西五反田 7-8-11 PRESTIGE 五反田 2F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 戸高 大志
(4) 事 業 内 容	医薬品・医療機器輸入代行など
(5) 資 本 金	100 千円
(6) 設 立 年 月 日	2024 年5月 24 日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社 Convano consulting 100.0%

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025 年8月27日
(2) 契 約 締 結 日	2025 年9月30日(予定)
(3) 事 業 開 始 日	2025 年9月30日(予定)

6. 今後の見通し

シンクスヘルスケアは、META BIOMED Co., Ltd. との間で、次世代型糸リフト素材の共同研究開発および日本市場における独占輸入代行業を目的とする業務提携契約の締結を決議しており、同契約が予定どおり成立・履行され、上市準備が計画どおり進むことを前提とすれば、当該糸リフト商材の販売拡大により、当社グループの売上高は大幅に増加する見通しです(糸リフト商材売上高 2025年3月期実績：8百万円)。特に、自由診療クリニック向けに構築済みの販路やKOLネットワークを活用した導入支援、注入系施術とのクロスセル、医師教育プログラムの体系化により、早期の市場浸透と継続的な需要の獲得が期待されます。また、META BIOMEDが保有するPDO/PCL等の素材加工技術と、当社が収集してきた臨床ニーズを組み合わせた新規コグ構造（柔軟性と引き上げ力の両立）の実装により、競争優位性の高い製品ポートフォリオを形成できる可能性があります。

一方で、現時点では、当該提携に起因する定量的な増加額（売上高、売上総利益、営業利益等）については、試作品PoC結果の集約・解釈、国内外データの統合、予定SKUの最終確定、薬機法等関連法令に係る取扱いや必要手続の確認、上市時期と導入ペース（クリニック当たりの導入本数・手技回転数）、価格設定と販促投資、物流・在庫コスト、為替影響（KRW/JPY・USD/JPY）など、前提の不確実性が残るため精査を継続しております。加えて、競合各社の新製品投入や価格政策により初期の獲得速度が変動し得ることも考慮が必要です。これらの要素を踏まえ、当社は、①販売単価・SKU構成、②導入施設数の四半期別積み上げ、③リピート率と1施設当たりの消化本数、④販促・教育費および物流費の費用対効果、⑤製造・調達条件と為替前提、⑥品質関連の予防・是正コストのレンジ、を主要感応度項目としてレンジ試算を行い、合理的に見積可能となった時点で、業績予想に反映する方針です。これらの項目は当社における業績影響の把握に資する内部的な分析要素として整理したものであり、必ずしもすべてを具体的な数値として開示することを予定しているものではございません。今後、業績予想修正が必要となる場合には、その時点での状況や合理的な見積可能性を踏まえ、投資家の皆様の判断に資する適切な範囲の情報を開示してまいります。

したがって、現時点では公表済みの連結業績予想に変更はありません。契約締結（2025年9月30日予定）および上市準備の進捗、PoCの最終結果、価格・SKUの確定、初期受注の状況等を踏まえ、適切なタイミングで定量影響を織り込むとともに、重要な変更が見込まれる場合には、適時適切な開示を行います。なお、本記載に含まれる将来見通しは、現時点で入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づくものであり、実際の業績は、諸要因により、想定と異なる可能性があります。当社は、収益機会の最大化とリスク管理の両立に注力しつつ、資源配分の最適化を通じて、糸リフト事業の持続的な収益貢献を目指してまいります。

なお、本件次世代型糸リフトの開発に要する費用は、2025年6月30日付「第三者割当による第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の引受契約の締結に関するお知らせ」において公表したとおり100百万円を見込んでおり、当該金額に変更はございません。当該費用については、営業活動によるキャッシュ・フローにより賄う予定です。

以上